

# 歌唱

音楽の学習を通して生徒たちがより豊かに自己表現することができるよう教材を精選し、提示の仕方を工夫しながら、ポピュラー・ソング、唱歌、芸術歌曲、合唱曲、ミュージカル・ナンバー、オペラ・アリアなどを取り上げました。また、ジャンルが多岐にわたっているだけでなくさまざまな曲想の曲を取りそろえ、さらに伝統音楽の歌唱にも取り組めるよう長唄を収録しました。

(P.4-5)

## 発声

明確な目的をもって行えるヴォイス・トレーニングのEXERCISEを、《Alleluja》をはじめとする歌唱教材に生かすことができるようにしました。1年を通して活用できるページになっています。

歌う際のポイントを楽譜中に色文字で挿入

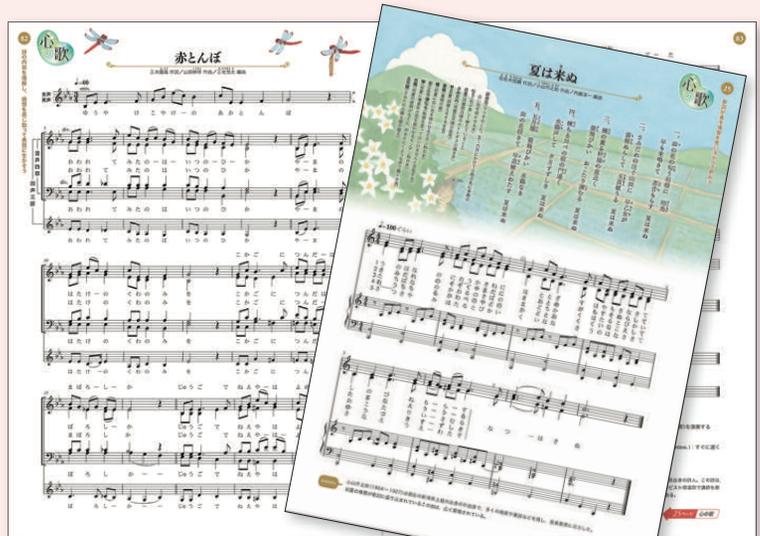
MOUSA ①では《Ave Maria》を用いてロングトーンによる豊かな響きの習得を、MOUSA ②では《Alleluja》を用いて細かい動きや跳躍音程を正確に歌う技能の習得を目的としています。



## 心の歌

歌い継いでいきたい日本の歌を「心の歌」と題し、自然の美しさや情緒が感じられる曲を取りそろえました。各曲とも縦書き歌詞を掲載しています。

新たに三宅悠太氏が編曲した《赤とんぼ》は、各学校の実態に応じて、「混声四部」または「同声三部」が選択できます。



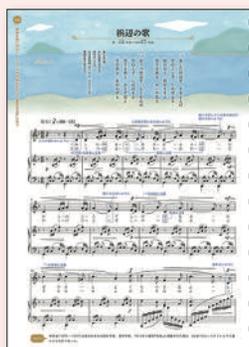
(P.82・83)

(P.25)

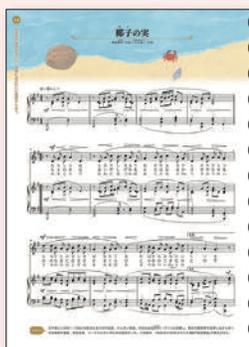
## 日本の歌曲

独唱のための教材として、《椰子の実》に加え、《浜辺の歌》を新たに収録しました。各曲とも縦書き歌詞と伴奏譜を掲載しています。また、MOUSA ②では表現を深めるための大解剖を《浜辺の歌》で試みました。

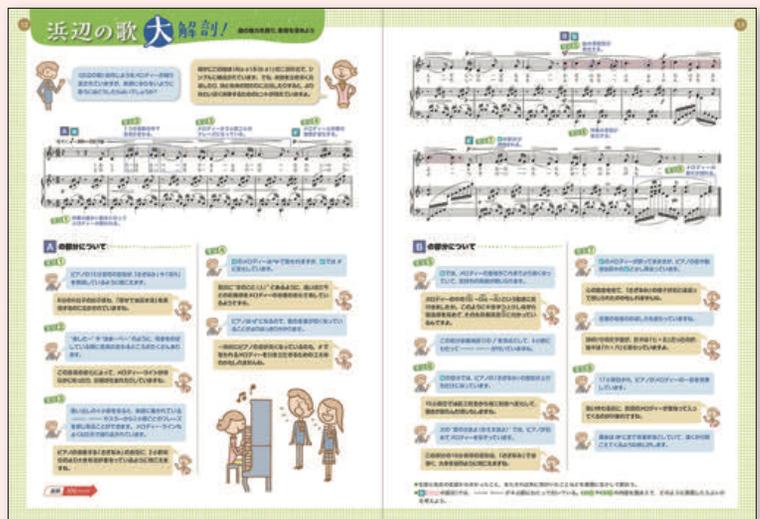
生徒と先生の会話によって、発見の内容が膨らんでいきます。



(P.10~11)



(P.14~15)



(P.12・13)

## ポピュラー・ソング

人気の高い《ハナミズキ》《糸》の他に、爽やかな曲調の《東京VICTORY》とスピッツの《楓》を新たに加えました。また、《上を向いて歩こう》は、授業で扱いやすい斉唱と二部合唱によるスタンダードなアレンジにしました。

(P.8~9)

(P.18~19)



(P.16・17)

豊かに自己表現することができるよう、さまざまな曲想の教材を取り上げています。

(P.6~7)

(P.20~21)

## 合唱, ヴォイス・アンサンブル

合唱では、「心の歌」で紹介した《赤とんぼ》に加え、佐井孝彰氏の作曲した《はなさくら》(混声四部 ア・カペラ)を新たに収録しました。また、フランキー・ヴァリのファルセットによる歌唱が特徴的な《Sherry》をヴォイス・アンサンブルで楽しめます。



(P.86・87)



(P.40・41)

## 外国の歌曲

定番曲の中からイタリア歌曲3曲、ドイツ歌曲2曲、フランス歌曲1曲を取り上げ、原語歌詞の意味も掲載しました。この他、イタリア語によるオペラ・アリアや英語の歌も収録しています。



(P.29)



(P.51)



(P.30~31)



(P.52~53)



(P.32~33)



(P.36~37)

## 日本の伝統的な歌唱

MOUSA①では能の「謡」を取り上げ、MOUSA②では「長唄」を取り上げました。唄い方を体験し、日本の伝統音楽への理解を深めることができます。取り組みやすくするために、三味線の伴奏を指導用CDに収録しています。

実際の長唄の楽譜の例

長唄の特徴を感じ取るための五線を用了絵譜



(P.72)